

# 音楽科学習指導案

## 題材名「いろいろながっきの音をさがそう」〔学指要領：A表現・ア〕

令和5年11月8日(水) 第2校時 音楽室  
みどり市立笠懸西小学校 2年1組 指導者 齋木 映里

### I 題材の構想

#### 1 題材の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・音色やリズムなどと曲想との関わりに気づき、楽器の音色に気をつけて演奏することができる。	・楽器を鳴らすことばかりに意識がいつてもしまったり、楽器の特徴を生かした表現が難しかったりする児童がいる。
思考力、判断力、表現力等	・楽器の音色やリズムの違いが生み出すよさや面白さを見いだして聴いたり、楽器やリズムの組み合わせ方について思いをもったりする。	・曲想と思いが一体的である児童が多いが、このように演奏したいという思いをもつことができない児童もいる。
学びに向かう力、人間性等	・音色とその組合せのよさや面白さを見いだして聴いたり、それらの特徴を生かして表現したりする学習を楽しみ、楽器の音色への興味・関心を広げる。	・楽器に対する興味・関心は高く、意欲的に取り組むことができる児童が多いが、発表などの表現する活動が苦手な児童もいる。

#### 2 評価規準

知識・技能	①リズムや音の重なりと曲想との関わりに気付いている。 ②打楽器の音やリズムのつなげ方の特徴に気づき、即興的に音とリズムを選んで表現する技能を身に付けてリズムを打っている。 ③リズムのつなげ方の特徴に気づき、呼びかけとこたえを用いて音楽をつくる技能を身に付けてつくっている。 ④打楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気づき、音色に気を付けながら、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けて歌ったり、演奏したりしている。
思考・判断・表現	①音色やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、演奏のまねをするなどして曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。 ②打楽器の音色やリズムの特徴を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。 ③音色、リズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音の出し方や重ね方を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。
主体的に学習に取り組む態度	①楽器の音色の特徴やリズムの重ね方と曲想との関わりに興味・関心をもち、音楽を聴く学習を楽しんで取り組もうとしている。 ②打楽器の音色やそれに合うリズムに興味・関心をもち、友達とリズムを組み合わせる音楽をつくる学習を楽しんで取り組もうとしている。 ③歌に合わせて音を重ねて表現する学習を楽しんで取り組み、打楽器の音色やその組み合わせによる響きへの興味・関心を広げようとしている。

#### 3 指導及び評価、ICT活用の計画(全6時間：本時第6時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
1	・打楽器の音色やリズムに気をつけて、曲想を感じ取って聴く。 題材の課題 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">いろいろな楽器の音色を聴いたり、組み合わせて演奏したりしよう。</span>	①	①	①
2	・楽器とその音色の特徴に合うリズムを選び、即興的に表現する。(あ)	②		①
3	・呼びかけとこたえを使って、友達とリズム遊びをする。(あ)	③	②	②
4	・ペアで作ったリズムを発表し合う。(あ)			①
5	・曲の感じをつかんで歌ったり、リズム打ちをしたりする。			③
6	・音色の特徴を生かして、音の組み合わせや重ね方を工夫する。(あ)	④	③	

\*活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート

\*活用するコンテンツ等：なし

II 本時の学習 (6/6)

1 ねらい グループに分かれて、楽器の響きや音色の特徴を生かし、鳴らす順番や組み合わせなどの音の重ね方を考えて演奏することができる。

2 展開

【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕	主な発問 ○指導上の留意点 ◆評価項目 (観点)
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分) <めあて> いろいろながっきの音をかさねてえんそうしましょう。 S : たくさん楽器が使えて楽しそう。 S : 楽器の組み合わせはどうでしょうか。	○全員でピアノ伴奏に合わせて歌ったり、手拍子でリズム打ちをしたりして曲を復習する。 ○使用楽器の種類や、音色、演奏の仕方を押さえる。 ○見通しをもたせるために、スライドで本時の活動を確認する。グループ活動の時間があり、本時の最後は全員で発表することを押さえる。 【★提示】
2 タブレット上で楽器の響きや音色の特徴をまとめた資料を見たり、楽器を鳴らしたりしながら、重ね方を話し合う。(12分) 「グループで、前に考えた楽器の特徴カードを見たり、楽器を鳴らしたりしながら、重ね方を話し合いました。決まったらワークにシールを貼りましょう。」 S : 一番はじめはリズムが分かりやすい「皮の楽器」がいい気がするよ。 S : 最後は、音が響く「金属」の楽器にしたいな。 S : あまり響かない「木」の楽器から始めて、だんだん強い音が出る楽器にしたらどうかな。	○1時間目の学習時にまとめとして使用した、ロイロノートの「楽器の特徴カード」を見ながら、グループで話し合っ楽器の組み合わせを決める。 ○楽器の重ね方を決める時は、好き嫌いではなく、なぜこの楽器を使ったのか、この楽器を選ぶことで音楽がどんな感じになるのか、楽器の重ね方で音楽がどう変わったのかななどの理由をもてるように言葉をかける。また、本時の活動のヒントとして、前時の学習の振り返りを活用する。 ○決まったことを全員で確認できるように、ワークに楽器シールを貼る。 ◆評価項目 (思) 話し合いや練習の様子から、「音の出し方や重ね方を工夫し、どのように演奏するかについて自分の思いを表現しているか」を評価する。
3 グループごとに音出しをして練習をする。(13分) 「ワークを見ながらグループで練習しましょう。自分のパートができたなら、歌いながら演奏することにも挑戦しましょう。」	○各グループが練習しやすいように、教室内にCDを流しておく。 ◆評価項目 (知) 声や音を合わせて演奏する技能を身に付けて歌ったり、演奏したりしている姿を評価する。
4 グループごとに演奏を発表する。(15分) ○グループで決めた音の重ね方を発表する。 ○発表を聴いているグループが、歌のパートを歌う。 「グループで練習したことを発表しましょう。各グループの工夫やよかったところも見つけながら聴きましょう。」 ○発表を聴いた後は、よかったところを伝え合いタブレットで振り返りシートを記入する。	○他のグループが発表内容を理解できるように、ワークのページを電子黒板に映して共有する。 【★提示】 ○重ね方が分かりやすいように、歌と合わせる前に、楽器の演奏だけを聴く時間を取る。その後、聴いているグループに歌ってもらい、歌と合わせて楽しむ。
<振り返り> S : グループで合わせて歌ったり、えんそうしたりすることができた。音のかさなり方をくふうしたりこんなふうにあんそうしたいと思いをもちたりすることができた。【★保存・提出】	